

# 平成25年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市資源再生センター		
管理者名	環境をサポートする株式会社きらめき	指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	環境部廃棄物対策課		
所在地	新潟市東区下木戸3-4-2		
根拠法令			
設置条例	新潟市資源再生センター条例		
施設概要	飲食用缶の選別施設に併設。 ○全体の敷地面積 約6,452㎡ ○床面積 1,162㎡(啓発部分) + 184㎡(見学者通路) ○構造・規模 鉄筋造り・2階建 ○主な施設内容 1階 展示ホール, 事務室, 再生工房 2階 大研修室, 研修室, 実習室, 講座室, 見学者用通路 屋外駐車場 建築年 平成8年3月		

施設設置目的
廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用を図り, 快適な生活環境づくりと資源循環型社会の形成に資するため新潟市資源再生センターを設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1) 廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用に関する啓発 ごみの排出抑制や再利用, 再資源化を柱とした循環型社会の構築に向け, 施設見学やリサイクル啓発事業を実施し, 環境意識の向上を図ること。 <b>【重点課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学においては, 特に分別の重要性や再資源化の有用性について情報提供し, 啓発に努める。</li> <li>・リサイクル講座・講演会, 不用品交換会, 展示提供事業を実施し, ごみの減量や再生利用について普及啓発に努める。</li> <li>・大研修室や実習室, 講座室を利用した市民の環境関連活動を支援する。</li> <li>・「新潟市一般廃棄物処理基本計画」など市の施策に積極的に協力し, 計画達成の役割を担う事業を企画運営する。</li> </ul> (2) 利用者が, 清潔で安全かつ快適な施設を利用できるよう努めること。 <b>【重点課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設を管理運営する責務を認識し, 市民の平等利用の確保を図る。</li> <li>・利用者の安全確保を最優先とし, 安心の提供及び快適性に重点を置いた管理運営を行う。</li> <li>・利用者からの意見, 要望を反映させた管理運営を行う。</li> <li>・法令の遵守(個人情報保護等)</li> </ul> (3) 利用者の満足度向上を図るとともに, 管理経費の縮減に努めること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページの充実と情報誌年3回以上の発行・地元メディアに情報発信	年3回広報誌発行	B	
	施設見学者数	団体数, 見学者数の増加	見学団体数(84→59)・人数(3,399→2,678)ともに減少。	C	見学人数が前年比20%減少。
	利用者の満足度	利用者アンケートで施設上の運営も項目に加えて「概ね満足」以上が80%以上	「概ね満足」以上が456人中439人が回答。	A	「概ね満足」以上が90%以上。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答	接客・接遇マニュアル等を作成・運用している。	A	苦情が1件だった。
	設置目的に合致した事業の実施	リサイクル講座を120回開催・環境出前講座30回開催	155回開催。	B	
財 務	管理運営経費の縮減	自主事業費をH24実績より1%以上削減	予算通り。	B	
業 務	人員配置計画の妥当性	サービス水準維持のための人員適正配置	計画通り問題なし。	B	
	事件・事故発生時の対応	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	速やかに処置及び報告を行った。	A	年始にも関わらず事件発生時、速やかに処置及び報告がされた。
	個人情報の保護	情報セキュリティ研修を年1回以上の実施, 個人情報・守秘義務の対応	全社員に対し徹底周知済み。	B	
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	遵守している。	B	
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している。	B	
	職員の能力向上	接遇研修等を年1回以上実施	マナー研修, 心肺蘇生法等を実施。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- この3年間の運営で、東区での当施設の認知度が、かなり低いということが分かりました。以前から新聞・テレビ等の広報があった場合の反響は、大変大きいです。平成26年度は、出前講座や東区自治会への回覧等を行い、当施設が周知していくよう努力していきます。
- 施設見学が、前年対比で減少しております。今年度は、「環境工作教室」のご案内文を小学校へ棚入れしたのみでした。平成26年度は「環境工作教室」のみならず、社会科部会委員会に配布したり、手作りのゆるキャラを登場させます。
- 当施設のスタッフによる講座が、年々少しずつ増加しております。施設のレベルアップにも繋がっております。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

見学者等の来館者数は昨年度より減少しましたが、苦情件数の減少・事件発生時の速やかな対応等により、安定した運営がされています。利用者アンケートも高評価を得ています。来年度は、来館者数を増加させるよう広報に力を入れていくことが必要です。